

## 家庭科 12月までの学習

### <1年生>

栄養バランスを考えて食事を考えるだけでなく、「調理できる人」になるために学習を進めてきました。調理ができる人になるためには、どのような力が必要か、どのような学習をする必要があるかを全員で確認し、それぞれの学習のつながりを意識しています。生鮮食品と加工食品について調べる中で、自然と議論を始める子どもたちも見られました。

### <2年生>

スポーツパンツの製作を通して、立体構成を学習しています。自分自身で製作手順を確認したり、なぜその縫い方をする必要があるのかを考えたりしながら作っているところです。完成したら、実際に着用して、見た目、サイズ感、履き心地などを評価する予定です。

#### 追求の記録より

- ・思ったよりも布が大きくて、ズボンって立体だから大きいのかなと思いました。
- ・一つズボンを作るだけで、使う布の量が思ったより多くてびっくりした。体全体をおおったり、縫っていく中では、ある程度余分が必要なんだなと思った。
- ・体操着とつくりが似ていることがわかった。わからなくなったら体操着を見ればどうやって作ればいいのかがわかると思う。
- ・友だちに「裁ちばさみは先端まで切らない方がいいよ」と言われ、実践してみたらうまくいきました。
- ・布は伸縮するので、裁ちばさみを固定しないとうまく切れないんだなと思いました。

### <3年生>

第1回の交流学习をもとに、幼児の特徴をふまえて活動計画を立て、第2回の交流学习を行いました。幼児に楽しんでもらうためには、どのようなものを遊びがよいか、どのように接すればよいかをグループごと考え、当日は積極的にかかわる姿が見られました。幼児とのかかわり方を考えるとともに、自分自身の幼児期を改めて振り返る機会にもなりました。

#### 追求の記録より

(活動内容を振り返って)

- ・工作は、読み聞かせに比べて、楽しそうな子が少なかった。難易度が低すぎたのかもしれない。

- ・読むスピードが速かったことと、絵本そのものが長かったために、飽きちゃう子もいた。もっと話が短くてわかりやすいものにすればよかったと思う。

(今後の幼児とのかかわり方について)

- ・一緒に遊ぶくらいだったらできるかもしれない、と思った。以前は子どもが苦手だと思っていた自分でも、普通に話したり遊んだりすることができたからだ。この先、私が幼児と深いかかわりをもつことがあるかはわからないが、苦手意識がなくなった今は、以前より積極的に話しかけたり遊んだりすることができると思う。
- ・幼いからと言って、何でもやってあげるのではなく、後で手伝うにしても少し自分で考えさせる時間を作ることで、芽生えてきた自立心を育てることにつながると思った。

